

探究ループリック

	課題設定	情報収集	整理・分析	統合・発展	説明
A	点の位置を数学の用語を用いて適切に表し、さらに数やベクトルなどの式で表した。	位置ベクトルの考えを長さの比と関連付けながら理解し、分点をベクトルで表した。	チェバ・メネラウスの定理と関連させながら、交点を位置ベクトルの考えを用いて表す方法を見いだした。	点を位置ベクトルの考えを用いて表した過程を振り返り、五心・直線・円・領域などの図形をベクトルで表す方法を見いだした。その際、図形の決定条件や方程式と関連付けながら、考察した。	数学的な表現を用いて論理的に説明することができた。さらに、他者の考えを理解し、自身の考察を深めたり、改善したりした。
B	点の位置を数学の用語を用いて適切に表した。	位置ベクトルの考えを理解し、分点をベクトルで表した。	交点を位置ベクトルの考えを用いて表す方法を見いだした。	点を位置ベクトルの考えを用いて表した過程を振り返り、五心・直線・円・領域などの図形をベクトルで表す方法を見いだした。	他者の考えを参考にしたり、協働したりしながら、数学的な表現を用いて論理的に説明した。
C	点の位置を数学の用語を用いて適切に表さなかった。	位置ベクトルの考えを理解し、分点をベクトルで表すことが理解できなかった。	交点を位置ベクトルの考えを用いて表す方法を見いださなかった。	五心・直線・円・領域などの図形をベクトルで表す方法を見いださなかった。	数学的な表現を用いて論理的に説明しなかった。